

UV-C 領域殺菌用途の紫外放射研究調査委員会報告書 目次

1. はじめに	3
2. 委員構成	3
3. 委員会の設置目的	4
4. 委員会の活動状況	4
5. A チーム報告 (UV-C の動向調査)	5
5.1 紫外放射関係の用語の分類名と定義波長の状況	5
5.2 照明用語の JIS と国際規格の関係	6
5.3 JIS 独自追加用語の世界的な使用状況	6
5.4 改正方針の策定	7
5.5 項目ごとの改正経緯と結論	8
5.5.1 番号【01006】「紫外放射」改正内容	8
5.5.2 番号【06001】「近紫外放射」改正内容 (JIS 独自追加項目)	10
5.5.3 番号【06002】「中紫外放射」改正内容 (JIS 独自追加項目)	10
5.5.4 番号【06003】「遠紫外放射・真空紫外放射」改正内容 (JIS 独自追加項目)	11
5.5.5 番号【06046】「殺菌放射」改正内容	13
5.5.6 番号【用語の新設】新設内容 (JIS 独自新規追加項目)	14
5.5.7 その他の項目	14
5.6 JIS Z 8113 改正のスケジュール	15
6. B チーム報告—UV-C 計測器の現状調査	18
6.1 計測方法	18
6.1.1 物理計測方法	18
6.1.2 化学・生物線量計について	21
6.2 市販計測器の調査	40
6.2.1 帯域分光計測器の評価	40
6.2.2 スペクトルミスマッチの影響とその補正	54
6.2.3 分光計測器の評価	58
6.3 市販計測器の調査結果から見てきた課題とカタログや取り扱い説明書などに表記すべき特性	72
6.3.1 課題 1—校正光源	72
6.3.2 課題 2—斜め入射光特性 (近接測定)	74
6.3.3 計測器の特性としてカタログや取り扱い説明書などに表記すべき特性	76
7. まとめ	79